

第八十一回 帝國議會
衆議院 商工經濟會法案外一件委員會議錄(速記)第四回

昭和十八年二月十九日（金曜日）午前十時半
七分開議

出席委員左ノ如シ

理事宇田 耕一君理事卯尾田毅太郎君
理事小高長三郎君 理事公尾 三藏君

現事八高長三貳君
今井 嘉幸君
内地久五郎君

白浪公五郎君
岡本傳之助君
川島正次郎君
加藤鐸五郎君
九鬼 紋七君

月山正義貞治
大男 紹七
坂本宗太郎君
河野 密君
田中和一郎君
高野孫左衛門君

高麗王公御門君
瀧澤 七郎君
伊市君 舟田 中君

御本多 鋼治君
星島 二郎君
菅野 故野 良三君

星馬一郎君 特異見三君
三木與吉郎君 南 鐵太郎君

吉川大介君ヲ議長ニ於テ選定セリ

農林次官 農工省
總務局長 石黑
申田 武重君
星君

商工省企業局長 豊田 雅孝君

口ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
商工經濟會法案(政府提出、貴族院送付)。

商工組合法案(政府提出、貴族院送付)
商工組合中央金庫法中改正法律案(政府

提出、貴族院送付)
不村委員長 只今カラ開會致シマス——

第六類第十七號 商工經濟會法案外二件委員會議錄

第四回 昭和十八年二月十九日

○南委員 私ハ一番先ニ兩省關係ノコトニ
南鐵太郎君

○南鐵太郎君
私ハ一番先ニ兩省關係ノコトニ付テ御伺ヒシタイノデス、ソレハ物事ハ、ヤハリ名ハ體ヲ現ハスト云フコトデ、名前ナント云フモノハドウデモ宜イモノノヤウニ思ヒマスケレドモ、是ガ非常ニ日本ノ政府ノ「セクショナリズム」ヲ表明シテ居ル例證ダト思ヒマス、其ノ點ヲ指摘シテ、何ト力役所ノ方デ統制ガ取レスカ、餘り個人主義ヲ押シ通スコトヲ止メテ、少シハ統制的ニヤレナイモノカト云フコトニ付テ御尋ネシタイ、ト云フノハ此處ニ商工經濟會ト云フ名稱ガアリマスガ、此ノ經濟會ト云フ名前ヲ農林關係デ見マスト、全國農業經濟會ト云フモノガアル、此ノ農業經濟會ノ内容ト云フモノハ、會員ノ利益ヲ増進スルノガ主旨デアル、即チ國策ニ協力スルト云フヤウナコトヘ二ノ次ナシダ、ソンナモノハナイ、國策ニ協力スル方ハ寧ロ地方農業會デアル、其ノ同ジヤウナ名前ガ、商工省デ使ツテ居ル經濟會ト、農林省デ使ツテ居ル經濟會トマルデ内容ガ違フ、例ヘバ日本デハ鐵道ノ汽車ヲ汽車ト言フ、所ガ支那ヘ行ケバ汽車府ガ同時ニ立法スルノニ、ソレ程名稱ノ使ヒ方ヲ違ヘテ宜イノカドウカ、餘リニ不體裁デアル、餘リニ「セクショナリズム」ヲ現ヘシテ居リハセヌカ、斯ウ云フ風ニ考ヘマス

ノデ、是ハ「ツ政府モ少シ統一シタ政府ニシテ貰ヒタイ、モツト役所ト云フモノヲ統制ノアルモノニシテ貰ヒタイ、人民ニ統制ト云フコトヲ頻リニ言ヒマシテモ、役所ヲ統制シナケレバ何ニモナラヌ、モツト役人ノ頭ヲ、個人主義ノ差別觀念ヲ取ツテシマツテ、モウ少シ統制ノアル頭ニシテ貰ヒタイト云フノガ私ノ伺ヒタイ所デアル、何トカ名前ダケデモ直シテ貰ヘスカ、ドツチカラ直シテ、經濟會ナラ經濟會ト云フモノハ、農林カラ言ツチモ、商工カラ言ツチモ、ドウ云フ内容ノモノダ、似タリ寄ツタリノモノナラ分ツテ居リマスガ、全然縁モユカリモナイト云フ位違ツテ居ル、寧ロ之ニ近イヤウナノハ、農林省ノ方ノ中央農業會ノ仕事ノ方ガ近イ、之ヲモツト統制ノ出來タ所ノ名稱ニシテ貰ヘスカドウカ、其ノ點ヲ伺ヒタインデスガ、御答辯ヲ願ヒマス○**神田政府委員**　名稱ノ問題デゴザイマスガ、御話ノヤウニ名ハ體ヲ表ハスト云フ意味ニ於キマシテ、中々名稱ノ問題ニ付キマシテハ難カシイノデアリマス、此ノ商工經濟會ト云フ名前ヲ付ケマシタノニモ、相當色々吾々ハ苦勞ヲシタノデアリマス、餘り長イ名前ニナリマシテモ呼稱ニ困リマスシ、シタシ、又商工會議所等トモ相談ヲ致シマシテ、結局商工經濟會ト云フノガ適當デア

ラウト云フコトニ落着イタノデアリマス、之ヲ決メマス經過ニ於キマシテ、別段今御話ノヤウナ、何ト言ヒマスカ「セクショナリズム」ト云フヤウナ意味ニ於テ、決マツテ來タノデハナイノデアリマス、農業ト商工業ノ關係ニ於キマシテハ、產業ノ態勢ガ實ハ非常ニ違フノデアリマス、隨ヒマシテ農業ノ經濟團體ト云フモノノ構成ト、商工關係ノ經濟團體ノ構成ト云フモノハ、實ヘ相當根本カラ違ツテ居ルノデアリマシテ、農業ト商工業トヲ竝ベマシテ、之ニ當ルモノガ是レ、之ニ當ルモノガ是レト云フ風ニ致シマスコトハ、產業體形ノ上カラ言ツテ、實ハ中々困難ナ狀況ニアルヤウニ思ハレルノデアリマス、サウ云ツタコトカラ、此ノ商工業關係ヲ農業關係ト竝ベマシテ、比較ノ出來ル場合モアリマスケレドモ、經濟團體タル構成ニ於キマシテハ、一寸比較致シマスノガ難カシイノデハナイカト考ヘル譯デアリマシテ、サウ云ツタ關係カラ今回ノ名稱等ニ付キマシテモ、特ニ農業關係ト比較シテ、コチラガスウダカラスウト云フ關係ニ於テ決マツタモノノデハナイノデアリマス、今度商工會議所法ヲ改正致シマシテ、商工經濟會ヲ拵ヘルニ當リマシテ、ドウ云フ名前ガ最モ體ヲ表ハスグラウカト云フコナ候補名モ出シマシテ、ドウシタラ宜イ力ト云フコトヲ相談ノ上デ決メタ譯デアリマ

付託議案
工商經濟會法案（政府提出、貴族院送付）（第七六號）
商工組合法案（政府提出、貴族院送付）（第七七號）
商工組合案（金庫法中改正法律案
（政府提出、貴族院送付）（第七八號）

シテ、商工省ダケレスウ云フ名前ニ決メヨ
ウト云フノデ決メタ譯デハ實ハナイノデア
リマス、之ヲ決メタ經過ハサウ云ツタ所ニ
アルノデアリマシテ、先ヅ一般ノ經濟界ノ
方々ノ意向、役所ノ意向等ヲ綜合致シマシ
タ結果、斯ウ云フ所ガ妥當デハナイカ、斯
ウ云フコトニナツテ居ル譯デアリマシテ、
御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○南委員 私ハ商工經濟界ト云フ名前ガ、
適當デアルカ、不適當デアルカト云フコト
ヲ御尋ネシテ居ルノデハナシニ、兩方ト關
聯シテ、一つノ政府デアルカラ統制ヲ執ツ
テ、同ジ經濟會ト云フ言葉ナラバ、經濟會ト
云フ名前ヲ見レバ、商工關係ノ經濟會モ、農
林關係ノ經濟會モ同デヤナイカト云フヤウ
ナ概念ニ見ラレルヤウニスベキデナイカト
云フ意味合カラ、御伺ヒスルノデアリマス、農
業經濟會ノ方ヲ見テミルト、國策ニ協力ス
ルト云フヤウナ場面ハナク、寧ロ中央農業
會ノ方ガ國策ニ協力スルヤウナ施設デアル、
デアルカラ其ノ點ニ觀點ガ目立ツテ見エテ
居リマスノデ、ソレハヤル仕事ノ違フコト
ハ分リ切ツテ居リマスガ、其ノ點ニ付テ農
林省當局ノ方ト御協議ヲシテ、直セルモノ
ナラドツチカラ直シテ貰ヘナイカ、異ツタ
性格ノモノニ同ジ名前ヲ使ハヌヤウニ、ド
ツチカラ直セヌモノカト云フコトニ付テ御
尋ネシタノデアリマス、是ハ一方ダケニ御
尋ネシタノデハ意味ヲナサヌノデスカラ、此
ノ程度デ留保ノ儘ニ、一應打切ツテ置キマス
ソレカラモウツ法ノ條文ニ入ル前ニ

御尋ネ致シタノデアリマスガ、統制會
ト云フノハ縱ノ關係デ、色々統制ノ事業
ニ當ツテ居ラレルヤウデアリマスガ、ソ
レニ對シテ今度ノ商工經濟會ト云フモノ
或ハ「トラック」ガナイ爲ニ工場マデ運ベナ

ハ、横ノ關係トシテ統制シテ行クノダ、
スウ云フ風ナ御説明ガアツタヤウニ記憶ス
ルノデスガ、此ノ統制會ノ縱ノ關係ト、商
工經濟會ノ横ノ關係トガ、本當ニ具體的ニ
ドウ云フ風ニナツテ居ルカ、ドウ云フ風ニ
スル積リカ、其ノ交叉シテ居ル所ノ機能ハ、
具體的ニドウ云フヤウナ働キニナルカ、ソ
コヲ伺ヒマス

○神田政府委員 只今御話ノヤウニ、統制
ト云フコトニ付キマシテハ、統制會ノ系統
デ縱ニ通シテ居ル譯デアリマス、即チ統制
會ノ系統ニ於キマシテハ、各般ノ產業上ノ
統制計畫ト云フモノヲ立テマシテ、ソレヲ
段々下部ノ機構ニ傳ハテ實行サス譯デアリ
マス、即チ各產業工場其ノ他ハ、各產業統
制會ノ下部機構トシマシテ、統制會デ決メ
ラレマシタ方針ニ從ツテ實ハ動クト云フ恰
好ニナル譯デアリマス、所デ統制會カラ色
色統制ノ計畫ヲ指示シ、ソレヲ實行サセル
ノデアリマスガ、實行ノ範圍ニ入ツテ參り
マスト、色々ソコニ横トノ連繫ガ起ツテ來
ル、即チ例ヲ取ツテ申上ゲテ見マスト、物
動計畫ト云フモノガ決マツテ、或ル工場ニ
ハドノ位ノ資材、労力、電力ガ向ケラレル
ト云フ計畫ガ決マツテ、オ前ノ方ハ斯ウ云
フコトダグト云フノデ、其ノ範圍デ工場ハ操
作ヲスルト云フコトニナル譯デアリマスガ、
サウ云フコトハ統制會カラノ系統デ各工場
等ガ命令ヲ受ケテヤル譯デアリマス、所ガ
實際ノ問題ニナリマスト、一つノ資材ニ付
テモ今日入ラナケレバ困ル、明日入ラナケ
レバ困ルト云フ問題ガ起ツテ參ル、所ガ其
ノ入リマス資材ト云フモノモ、實ハ港マデ
來テ居ルケレドモ、荷役ノ關係デ上ラナイ、
ウ、サウ云ツタコトヲ横ノ連繫ノ機關ニ於

スウ云フ風ナ御説明ガアツタヤウニ記憶ス
ルノデスガ、此ノ統制會ノ縱ノ關係ト、商
工經濟會ノ横ノ關係トガ、本當ニ具體的ニ
ドウ云フ風ニナツテ居ルカ、ドウ云フ風ニ
スル積リカ、其ノ交叉シテ居ル所ノ機能ハ、
具體的ニドウ云フヤウナ働キニナルカ、ソ
コヲ伺ヒマス

○木村委員長 今ノ問題ニ關聯シテ……縱
日マデニ入ラナケレバ困ルカラ、其處ニア
ルモノヲ、成ベク早ク何處カラカ「トラック」
ヲ都合シテ、今日中ニ一ツ入レルヤウニシ
テ貴ヒタイト云フ事態ガ起ツテ來ル、是ハ
勿論計畫ノ一部デハアリマスガ、其ノ計畫ト
云フ範圍ヲ出テ參リマシテ、實行ノ面ニ於テ
斯ウ云フヤウナ色々ノ關係ガ起ツテ來ル、
是ガ現在ノ經濟界ノ動キノ實態ニナツテ居
ル、而モ此ノ面ト云フモノガ非常ニ重要
ナ點デアリマシテ、今マデノ統制經濟ノ上ニ
於キマシテ、ココニ接觸面ト言ヒマスカ、之
ニ對シテ協力シ努力スルト云フモノガナカ
ツタ、ソコニ力ガ十分ニ行ツテ居ラナカツ
タト云フコトガ、今ノ統制經濟ノ進行ヲ圓
滑ニシテ居ラナイ一ツノ大キナ原因デアリト
云フコトガ考ヘラレル、今回ノ商工經濟會
トシマシテハ、地方ノ生產其ノ他産業ノ
運行ノ現場ニ於テ、サウ云フ横ノ連繫ヲ取
リ、詰リ輸送ナラ輸送關係ノ統制會系統カラ
命令ガ行キマス、工場生産ニ付テハソレ。」
トシマシテハ、地方ノ生產其ノ他産業ノ
運行ノ現場ニ於テ、サウ云フ横ノ連繫ヲ取
リ、詰リ輸送ナラ輸送關係ノ統制會系統カラ
命令ガ行キマス、工場生産ニ付テハソレ。」
鐵鋼統制會トカ、或ハ機械統制會カラ命令
ガ行キマスガ、其ノ生產スル工場ト輸送關
係、或ハ労力ノ關係、食糧ノ關係ガ起ツテ
參リマス、サウ云フモノガ總テ綜合サレナ
ケレバ本當ノ現場ニ於テ動キガ出來ナイ譯
デアリマス、サウ云フ縱ノ系統ニ於テ色
色ヤツテ居リマス命令ト云フモノ、現場ニ
於テ現實ニ如何ニ之ヲ旨ク綜合シテ行クカ
ト云フコトニ付テ絶エズ關心ヲ持ツテ之ニ
ケサス場合モアリマセウシ、又實行計畫ト
云フヤウナモノヲ樹立スル場合モアリマセ
ス、サウ云フ事象ヲ捉マヘマシテ商工經濟
會ノ事務局等ガ中心ニナリマシテ、其ノ商
工經濟會ノ内ニ評議員其ノ他ヲ以テ委員會
等ヲ形成スル、ソコデ問題ヲ取上ゲマシテ、

例へバ大阪埠頗ナラ大阪埠頭ト云フモノノ倉庫ガ非常ニ詰ツテ居ル、其ノ爲ニ荷揚其ノ他ノ船ノ運行ノ工合ガ惡イト云フ問題が起リマスレバ如何ニシテ倉庫ノ商品ヲ捌イタラ宜イカト云フヤウナコトニ付テ、評議員其ノ他關係方面ノ者ヲ集メタ委員會等ヲ形成シテ、ソコデ研究シテソレヽ分擔スベキ業者ニ對シテ斯ウシテ貰ヒタイ、アアシテ貰ヒタイト云フ註文ヲスル、或ハ官廳ノスベキコトニ付キマシテハ官廳ニ對シテ註文ヲ出スト云フヤウナ動キニナルモノト御諒承ヲ願ヒマス

○南委員 大キナコトハ後ニ廻シマシテ、
條文ニ付テ一ツ伺ヒタイ、第一條ニ商工業
濟會ト云フモノノ目的ヲ御示シニナツテ居
リマスガ「商工業濟會ハ國民經濟ノ總力ヲ
最モ有效ニ發揮セシムル爲國策ニ其ノ產業
經濟ノ圓滑ナル連絡ヲ圖ルト共ニ其ノ改善向
上ニ努ムルコトヲ目的トス」所ガ第四條ノ事
業ヲ見マスト、唯之ヲ別々ニ竝ベタニ過ギナ
イ、「產業經濟ニ關スル統制ニ對スル協力」「產
業經濟ノ運營又ハ整備ニ關スル連絡」「產業經
濟ノ改善向上ニ關スル施設」「產業經濟ニ關ス
ル調査研究」斯ウ云フ風ニ書イテアルダケデ、
目的ト事業ト云フモノノ區別ガナイ、現行ノ
商工業會議所法ヲ見マスト第一條ハ「商工業會議
所ハ商工業ノ改善發達ヲ圖ルヲ以テ目的ト
ス」トアツテ、ソレカラ事業トシテハ第七條ニ
「商工業ニ關スル通報」「商工業ニ關スル仲介又
ハ斡旋」「調停又ハ仲裁」證明又ハ鑑定「統
計ノ調査及編纂」「營造物ノ設置及管理」其
他ノ商工業ノ改善發達ヲ圖ルニ必要ナル事業」
ト云フ風ニ、目的ヲ達スル爲ノ事業ガ書イテア
ル、ソレカラ第八條ニハ「商工業ニ關スル事項ニ

付行政廳ニ建議スル、ソレカラ「商工會議所ハ行政廳ノ諮詢ニ對シ答申スペシ」ト云フコトガ書イテアル、九條ニ於テハ調查ニ關スルコト、十條ニ於テハ統計其ノ他ニ關スルコト、事務上ノコトハ具體的ニ別ニ現ハシテ居ル、目的ト事業トハ別ニナツテ居ル、然ルニ本法案ニ依ルト、目的ト事業トハ別ノモノヂヤナイ、一條デハ一本ニ書イテアルシ、四條デハ又ソレヲ區別シテ並ベテアルダケデス、是ハ法文ノ體裁カラ云ツテモ變ナモノダシ、是ハ目的ト事業トハ區別ガアルノカドウカ、ソレヲ御説明願ヒタイト思ヒマス○神田政府委員 事業ガ目的ノ範圍内デゴザイマスコトハ當然デゴザイマス、隨ヒマシテ終局ニ於テ目的トスル所ト其ノ行ヒマスコトニ法文上ナルベキモノト考ヘマス、ソコデ今回ノ商工經濟會ノ第四條ニ於キマスル事業ノ書キ方、是ガ前ノ商工會議所ノヤウニ細カク出テ居ラヌ、目的ノ言葉ト似タヤウナ廣イ書キ方ニシテアルノハドウ云フ譯カト云フ御尋ネト思フノデアリマス、今回ノ商工經濟會ノ行ヒマス仕事へ前ノ商工會議所ノ時ト違ヒマシテ非常ニ廣汎ニナツテ居ル譯デアリマス、前ノ商工會議所デハ大體ニ於キマシテ其ノ地方ノ商工業ノ改善發達ト云フ狹イ範圍ノモノデアリマスノデ、是ガ發達ニ必要デアリマス事項トシテ、或ハ通報トカ、仲介斡旋ト云フヤウナコトガ具體的ニ舉ゲ易イノデアリマス、所ガ今度ノ商工經濟會ニ於キマシテハ、昨日來色々申上ゲマスヤウニ、地方ノ產業經濟ノ全般ニ瓦リマシテ、統制ニ關スル事項、ソレカ

○南委員　ソレデハ今度ノ商工經濟會ト云
改善發達ニ關スル事項全般ニ亘リマスノデ、
ドウ云フ協力ヲヤルノカ、或ハドウ云フ連
絡ヲヤルノカト云フヤウナコトヘ、問題ガ
具體的ノ事項ニナツテ參リマスノデ、之ヲ
ズツト一ツ一法文ニ捨ヒ上ゲテ書クト云
フコトハ、却テ其ノ間ニ大事ナ事項ヲ落ス、
或ハ事態ノ變化ニ應ジマシテ却テ運行ノ範
圍ヲ狹クスル、斯ウ云フ虞ガアル譯デアリ
マス、今度ノ商工經濟會ニ付キマシテハ、全
面的ニ地方長官ト云フモノト協力シマシテ、
地方ノ戰時產業經濟ノ運行ヲ全般的ニ圓滑
ナラシムルヤウニ、自由ナ活動ヲ強力ニ一
ツヤツテ貫ハナケレバナラヌ、斯様ニ考へ
マスノデ、餘リニ此ノ事業ヲ具體的ニ捨ヒ
上ゲマシテ、其ノ範圍ヲ洩レタモノハ出來
ナイト云フヤウナ恰好ニ致シマスコトハ如
何カ、斯様ニ考へタ次第アリマス、尙且ツ
題ガサウ云フ風ニ比較的具體的ノ事項トナ
ツテ出テ參リマスノデ、之ヲ一々捨ヒ上ゲ
マスト云フコトハ立法技術上非常ニムヅカ
シイノデアリマス、サウ云ツタ關係カラ、
此ノ第四條ノ事業ト云フモノヲ比較的廣く
書イテ居ル、サウ云フ關係カラ、第一條ノ
目的ト云フモノト比ベマシテ、字句ノ上ニ
於テソンナニ大キナ違ヒガナイト云フヤウ
ナ恰好ニナツテ來テ居リマスガ、併シ是ハ
商工經濟會ノサウ云ツタ使命カラ申シマシ
テ、又今後ノ運用上十分商工經濟會ニ思ヒ
切ツタ活動ヲシテ貴ヒタイト云フ趣旨カ
申シマシテ、斯ウ云フ書キ方ニスルノガ適
當デアラウ、斯ウ思ヒマシテ、比較的廣
括ガテ居ル、斯ウ云フコトニナツテ居リマ

フモノハ、商工業ノ改善發達ト云フコトハ目的トシナインデゴザイマスカ、一寸文字ヲ見タグケデハ、改善向上ト云フ文字ヲ御使ヒニナツテ居リマスガ、發達ト云フコトハ必ズシモ向上ハ違フト思フ、詰リ商工業が大ニイニ發展スルト云フコトモ發達ノ中ニ入ルト思ヒマスガ、改善向上ト云フコトハ唯單ナル精神的ノモノニ近イモノノヤウナ觀念ニ思ハレル、何ダカドウモ目的ガ消極的ナ心構へヲ訓スモノノヤウニモ見エル、商工業其ノモノヲ發達サスト云フコトガ全然目的ノ中ニ入ツテ居ラヌガ、其ノ點ハドウ云フ風ニ解釋シテ宜シイノデスカ

○神田政府委員 今度ノ商工經濟會ニ於キマシテ、地方產業ノ改善發達ト云フコトハ當然入ツテ居ルノデアリマシテ、今マデ商工會議所ガ行ツテ居リマシタ仕事ハ、全部今度ノ商工經濟會ニ於テ當然行ヒ得ルノデアリマス、其ノ外ニ統制經濟ニ關シマスル或ハ連絡デアリマストカ、統制ニ關スル協力ト云フ事項ガ加ハツテ居リマスケレドモ、今マデノ商工會議所ノヤツテ居リマシタ地方產業ノ改善ト云フコトハ當然此ノ商工經濟會ノ目的デモアリ、且ツ事業トシテ行フ譯デアリマス、ソコデ以前ノ商工會議所法ニヘ商工業ノ改善フ圖ルト云フ言葉ニナツテ居リマスノヲ、今度ノ商工經濟會ニ於キマシテハ、改善向上ト云フ言葉ヲ使ツテ居ル譯デアリマス、是ヘ實ヘ内容的ニハ改善ト申シマシテモ、改善向上ト申シマシテモ、向様ナノデアリマスガ、唯特ニ氣分ノ上カノ申シマシテ、此ノ向上ト云フヤウナ言葉カ入りマシタノハ、國全體ノ經濟ノ發展トムフ見地カラ、之ヲ大キク取上ガタ動キト

トシタノデアリマシテ、其ノ地方産業ガ全體トシテ促進サレル、一ツ／＼ガ促進ヲシテ、地方産業ガ全體トシテ向上發展シテ行ク、斯ウ云フ氣持ヲ出ス關係カラ、改善向上ト云フ言葉ヲ實ハ使ツテ居ル譯デアリマスガ、具體的ニヘ改善發達トサウ違ヒハゴザイマセヌ

○南委員 ソレハ事業ノ方デモ、目的ノ方デモ、改善向上ト御書キニナツテ居ル、ソレハ宜シイガ、發達ト云フコトハツモ書イテナイ、元ノ方デハ改善發達ト云フコトガ目的デアル、商工業ノ改善發達ヲ圖ルヲ以テ目的トスト一目瞭然トシテ居ル譯デアル、凡ユルコトガ是デ總て包含出來テ居ル、事業ノ方ハドウアラウト、目的ハソコニ總テヲ包含シテ居ツタヤウニ思ハレル、ソレハ統制ニ協力ト云フコトハ別問題ト致シマシテ、サウ云フ風ニ思ハレル、殊ニ事業ノ方ヲ見マシテモ、此處ニ新タニ掲ゲテアルヤウニ思ハレル連絡ト云フヤウナコトデモ、通報トカ斡旋ト云フコトノ事項ガ具體的ニアツタノデスカラ、ヤハリ同ジヤウナコトハヤツテ居ツタ、或ハ仲裁マデアルノデス、サウ云フヤウニ元ノモノハ全部包含シテ居ツタト思ヒマスガ、新タニ加ヘツタノハ統制ニ協力スルト云フダケデハナイカト、協力ト云フコトハ、府縣デノ統制ヘノ統制會ノ事業ト云フモノハ既ニ別ニ存在シテ居ルノデスカラ、サウスルト茲デ統制ヘ制デアル、中央機關ガ御世話シテ居ル其ノ

ニシカ思ハレヌノデスガ、其ノ以外ニ特ニ
統制ト云フコトニ付テ協力スル場面ハ、横
ノ關係デ先程御説明ノアツタ程度デハ、特
ニ統制ニ協力スルト云フ程ノコトデハナシニ
斡旋トカ何トカ云フヤウナ從來ノコトデ
モヤレルノデハナイカ、斯ウ云フヤウニ思
ハレルノデスガ、如何デセウ

○神田政府委員 今マデノ商工會議所法ニ
アリマス仲介デアリマストカ、斡旋ト云フ
事項ハ、實ハ斯ウ云ツタ統制經濟ニ於キマ
ス先程申上ゲマシタ各般ノ統制實行上ノ連
絡ト云フヤウナコトハ想定シテ居ラナイノ
デアリマシテ、各地方ニ於キマス業者間ニ
於キマシテ、色々諍ヒ、爭議ガアルト云ツ
タ場合ニ於キマシテ、ソレヲ仲立チ致シマ
シテ圓滿ニ取纏メル、斯ウ云フコトヲ想定
致シマシテ、仲介斡旋ト云フ言葉ガ出テ
居ルノデアリマス、從來ノ法令用語ノ遣ビ
方モ、仲介斡旋ト云フノハサウ云フ場合ヲ
想定シマシテ、總テ法令ニ書イテアリマス、
所ガ今回ノ狀況ハ、先程申上ゲマシタヤウ
ニ、從來ノ法律用語デ遣ヘレテ居リマスヤ
ウナ仲介斡旋ト云フノデナク、產業ノ統制
上ノ運行、或ハ戰時產業ノ圓滑ナル運行ト云
フ意味ニ於キマシテ、全體的ニ如何ニ旨ク
之ヲ持ツテ行クカト云フコトカラ連絡シテ
行クト云フノデアリマスカラ、事態モ大分
違ヒマスシ、内容モ違ツテ來テ居ル譯デア
リマス、サウ云フコトヲ考ヘマシテ、法文
上先程申上ゲマシタヤウニ、連絡ト云フヤ
ウナ言葉ガ出テ居ルノデアリマスガ、統制
シテ、只今御話ノ配給上ニ關シマスル色々

配給ニ付キマシテモ、大キナモノヲ除キマシテ、小口ノ石炭ニ付テハ地方長官ニ任せ居リマス、サウ云フ場合ニ於キマシテ、地方長官ニ任サレタ小口ノ石炭ノ配給ヲ如何ニ配分シタラ地方ノ全體ノ産業ガ「バランス」ガ取レルダラウカト云フコトニ付キマシテハ、商工會議所等ガ最モ研究ヲシ、且ツ其ノ腹案ヲ持チマシテ、地方長官ニソレヲ提示シ、地方長官ヲシテサウ云フ風ニ動カスト云フヤウナ協力ガ起ツテ來ル譯デアリマスガ、是ハ今御話ノ物資配給ニ關シマスル協力デアリマスガ、ソレ以外ニモ色々ナ協力ガ起ツテ來ル譯デアリマス、例ヘバ電力不足ノ問題ニ付キマシテモ、斯ウ云フ電力ガ非常ニ困難ナ場合ニ於キマシテヘ、夜間電力ヲダウ云フ風ニ利用スルカ、ソレハドウ云フ工場ガ夜間電力ヲ使ツタラ宜カラウカト云フヤウナコトニ付キマシテモ、商工經濟會アタリハ最モサウ云フ事情ニ通曉シテ居ル譯デアリマスカラ、サウ云フ研究ヲシテ、案ヲ立てマシテ、電氣廳ト連絡ヲ致シマシテ、夜間電力ノ利用ヲ圖ルニヘ、晝間作業ヲ夜間ニドウ云フ工合ニ廻シタライカト云フヤウナコト、コレモ一ツノ大キナ協力デアリマシテ、サウ云フ具體的ナ事例ハ非常ニ多イ、一ツヅツソレヲ擧ゲテ參リマスト、マダマダ申上ゲルコトハアルノデアリマスケレドモ、其ノ一二ノ例トシテ拾ヒマシテモ、サウ云フコトガアルノデアリマス、此ノ協力連絡ト云フ問題ニ付キマシテハ仲介斡旋ト云フノト大分事情ガ違フ譯デアリマスト、第四條ノ事業デ謳ツテ居リマス中ノト二一ハ、今申上ゲマシタヤウナ事項デアリ

マシテ、今マテノ商工會議所ニカツタ事例ヲ茲ニ新シク附加ヘタ、今度此ノ商工經濟會ニナツテ初メテ一ト二ト云フヤウナ事業ガ出來ルコトニナル譯デアリマス、三ト四ハ從來商工會議所ガヤツテ居リマシタ事業ヲ、茲ニ簡單ニ取纏メテ來テ居ルノデアリマス、即チ前ノ商工會議所法ノ七條ニ書イテアリマス事業ヲ一々拾ヒマセヌデ、總括シテ此ノ三ト四ノ事項ヲ現ハシテ居ル、斯ウ云フ恰好ニナツテ居ル譯デアリマス○南委員 ソレデハ第一條ノ條文ノ中ニ「國民經濟ノ總力」ト云フコトガアリマス、農林關係ナンカラ抜イテアル國民經濟ノ總力ト云フコトヲ此處デ謳ツテアルノデスガ、國策ニ協力スルト云フコトニナツテ、次ニ產業經濟ノ圓滑ナル連絡トアル、此處デ伺ヒマス所デハ、ドウモ單ニ商工經濟ニ關スルダケデナシニ、國民經濟ノ全體ノコト、或ハ產業經濟全體ノコトニ付テノ協力トカ連絡トカ云フヤウナコトガ謳ハレテ居ルノデス、ソレガ商工經濟會ト云フ名前ニナツテ居リマスガ、所ガ實際ハ農林關係ハ拔ケテ居ルト云フヤウナコトガ外ノ條文デ謳ツテアツタヤウニ思ヒマス、ソレデドウデス、農林關係ヲ抜イタ所ノ國民經濟ナント云フマヤカシイ言葉デナシニ、商工經濟ノ全力トカ總力トカ、或ハ產業經濟ト言ハズニ、商工經濟ト云フ風ニ、其ノ實際ノ內容通りニ現ハセナイノデセウカ

スガ、其ノ終局ノ目標トシテハ、ヤハリ戦時ニ於ケル國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮スルト云フコトヲ、一番奥ノ目標ニ致シマシテ動ク譯デアリマシテ、分擔シテヤル仕事ハ其ノ一部分デアリマス、商工經濟ノ問題ヲ取扱フ譯デアリマス、併シ商工經濟ノ問題ヲ取扱ヒマス際ニ於テモ、國民經濟ノ總力——農業其ノ他ノ產業、或ハ產業ダケデナクテ、外ノ經濟モ全部含メテ、如何ニ國民經濟ノ總力ガ發揮出來ルカト云フコトヲ、絶エズ頭ニ置キマシテ、其ノ中ノ一部分デアル商工經濟關係ノ問題ヲ商工經濟會ガ扱フ、斯ウ云フコトニナル譯デアリマシテ、究極ノ大キナ目標、狙ヒ所ヲ第一條ノ「國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲」トスウ云フ風ニ書イテ居ルノデアリマス、是ハ他ノ法律ニモ「國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮スル爲」ト云フヤウナ字句ハ屢々出テ來ル字句デアリマス、而モ其ノ法律ノ内容ハ、必ズシモ國民經濟ノ總力發揮ニ必要ナコトガ全部書イテアル譯デハナイ、其ノ一部分ガ書イテアルト云フ例ガ多イ譯デアリマシテ、最近ノ立法ニ於キマシテハサウ云フ一部分ノ事項ガ法案ノ中ニ出テ参リマシテモ、其ノ究極ノ狙ヒ所ハ國民經濟ノ總力ヲ發揮スルト云フコトヲ頭ニ置イテ運用ヲスルノダト云フコトヲ明カニスル意味ニ於キマシテ、斯ウ云フ書キ方ヲ致ス例ガ多イノデアリマスガ、本法案モサウ云フヤウナ氣持ヲ出シマス意味ニ於キマシテ、他ノ法令ニ倣ヒマシテ、斯ウ云フ字句デ書イテアル譯デアリマス〇南委員 目的ノ時ニハボヤツトシテ言葉ヲ使ツテモ宜イト云フ御見解ハ分リマシタガ、ソレデハ事業ノ方ハドウデスカ、事業

ノ方デヤハリ産業經濟ニ關スル統制ニ對スル協力ト云フコトデ、ヤハリ農業經濟ニ關スル統制デモ協力スルノカ、或ハ又第二號ノ方ノ產業經濟ノ運營又ハ整備ト云フヤウナ場合ニモ、又第三號ノ產業經濟ノ改善向上ト云フヤウナ場合ニモ、全部是ハ具體的ノ事業ナシデスカラ、事業ノ方デモヤハリ廣イ範圍ノコトニ協力スルト云フソレヲ含シデ居ル意味デ宜イノデスカ、目的ナラバ抽象的デ宜イノデスガ、事業デ具體的デスカラ、具體的ノ事業ヲスルト云フ場合ニ、ヤハリ廣イ範圍ニ書イテアル、ソレハ商工經濟ノ範圍デ仕事ヲスルト云フ意味デヤナシカ、ソレトモ一般的ノ廣イ範圍ノ仕事ヲスルト云フ意味デスカ、ソコハドウデスカ〇神田政府委員 私ノ申上ゲタノガ少シ十分デナカツタノデ或ハ誤解ガアツタカト思ヒマスガ、目的ハ廣イ範圍デ書イテ宜イト云フコトヲ申上ゲタノデハナイノデアリマシテ、第一條ノ目的ニ於キマシテモ、産業經濟ノ圓滑ナル連絡ヲ圖ルト共ニ其ノ改善向上ニ努メルト云フノデアリマシテ、此ノ産業經濟ト云フノハ所謂商工經濟、第五條第一號ニ掲ゲテアル事業ダケノ範圍デアリマシテ、第一條ニノ狹イ商工經濟ノ圓滑ナ連絡ヲ圖リ、又其ノ改善發達ヲ圖リマス爲ニ色々ナ事業ヲ於テモ産業經濟ト云フ言葉ハ狭イ、唯此ノ狹イ商工經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮スル爲ニ之ヲ運用スル、サウ云フ頭デ之置イテ運用ヲスルノダト云フコトヲ明カニスル意味ニ於キマシテ、斯ウ云フ書キ方ヲ致ス例ガ多イノデアリマスガ、本法案モサウ云フヤウナ氣持ヲ出シマス意味ニ於キマシテ、他ノ法令ニ倣ヒマシテ、斯ウ云フ字句デ書イテアル譯デアリマスガ、其ノ場合ニ於キマシテ、コトヲ第一條デ言ツテ居ルノデアリマシテ、モ、絶エズ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮スル爲ニ之ヲ運用スル、サウ云フ頭デ之運用シテ行カナケレバイカヌ、斯ウ云フコトヲ第一條デ言ツテ居ルノデアリマシテ、ガ、ソレデハ事業ノ方ハドウデスカ、事業

ノ方デヤハリ産業經濟ニ關スル統制ニ對スル協力ト云フコトデ、ヤハリ農業經濟ニ關スル統制デモ協力スルノカ、或ハ又第二號ノ方ノ產業經濟ノ運營又ハ整備ト云フヤウナ場合ニモ、又第三號ノ產業經濟ノ改善向上ト云フヤウナ場合ニモ、全部是ハ具體的ノ事業ナシデスカラ、事業ノ方デモヤハリ廣イ範圍ノコトニ協力スルト云フソレヲ含シデ居ル意味デ宜イノデスカ、目的ナラバ抽象的デ宜イノデスガ、事業デ具體的デスカラ、具體的ノ事業ヲスルト云フ場合ニ、ヤハリ廣イ範圍ニ書イテアル、ソレハ商工經濟ノ範圍デ仕事ヲスルト云フ意味デヤナシカ、ソレトモ一般的ノ廣イ範圍ノ仕事ヲスルト云フ意味デスカ、ソコハドウデスカ〇神田政府委員 私ノ申上ゲタノガ少シ十分デナカツタノデ或ハ誤解ガアツタカト思ヒマスガ、目的ハ廣イ範圍ニ書イテ宜イト云フコトヲ申上ゲタノデハナイノデアリマシテ、第一條ノ目的ニ於キマシテモ、産業經濟ノ圓滑ナル連絡ヲ圖ルト共ニ其ノ改善向上ニ努メルト云フノデアリマシテ、此ノ産業經濟ト云フノハ所謂商工經濟、第五條第一號ニ掲ゲテアル事業ダケノ範圍デアリマシテ、第一條ニノ狹イ商工經濟ノ圓滑ナ連絡ヲ圖リ、又其ノ改善發達ヲ圖リマス爲ニ色々ナ事業ヲ於テモ産業經濟ト云フ言葉ハ狭イ、唯此ノ狹イ商工經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮スル爲ニ之ヲ運用スル、サウ云フ頭デ之置イテ運用ヲスルノダト云フコトヲ明カニスル意味ニ於キマシテ、斯ウ云フ書キ方ヲ致ス例ガ多イノデアリマスガ、本法案モサウ云フヤウナ氣持ヲ出シマス意味ニ於キマシテ、他ノ法令ニ倣ヒマシテ、斯ウ云フ字句デ書イテアル譯デアリマスガ、其ノ場合ニ於キマシテ、コトヲ第一條デ言ツテ居ルノデアリマシテ、ガ、ソレデハ事業ノ方ハドウデスカ、事業

ニ發揮セシムル爲」ト云フノハ、一ツノ運用上粗ヒトシテ居ル最高ノ粗ヒヲ此處ニ表ヘシテ居ル、ソレ以下ノ「國策ニ協力シ産業經濟ノ圓滑ナル連絡ヲ圖ルト共ニ」云々以下ノ仕事、此ノ商工經濟界ノ直接目途トシテ居リマス所ハ産業經濟、即チ此ノ産業經濟ト云フノハ農業ヲ拔カシマンタ第五條第一號ニ書イテアル事業、斯ウ云フコトニ相成ルノデアリマス〇南委員 ソレナラ商工經濟會ト云フノノデアリマス〇南委員 ソレデハ此ノ産業經濟ト云フノヘ商工經濟ト云フコトノ意味ニ解スペキモノデアルト思ヒマスガ、ソレデハ單刀直入ニ商工經濟界ト云フナラ、同ジク商工經濟ノ圓滑ナル連絡ヲ圖リ、或ハ商工經濟ニ關スル統制云々デ、商工經濟ニ限ツテモ一向差支ヘナイヤウニ思ハレルノデス、サウスルト本法ニ於テ産業經濟トハ」云々ト云フ第二項ハ要ナクナル、何ノ爲ニ曖昧ナサウスガ、ソレデハ議論ニ互リマスカラ是以上スル統制云々デ、商工經濟ニ限ツテモ一向ソレヲ打消シテ、内容ハ狭イノデスヨト云云フ誤解ヲ抱クヤウナ文句ヲ使ツテ、更ニコトヲ言フ必要ガ何處ニアルカ、此ノ點ヲ承リタイ〇神田政府委員 商工業ト云フ言葉ニ付キマシテハ、實ハ是ハ色々ニ解釋サレテ居ル譯デアリマス、一番多く使ハレテ居リマスダケノ範圍デアリマシテ、第一條ニノ狹イ商工經濟ノ圓滑ナ連絡ヲ圖リ、又其ノ改善發達ヲ圖リマス爲ニ色々ナ事業ヲ於テモ産業經濟ト云フ言葉ハ狭イ、唯此ノ狹イ商工經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮スル意味ニ於キマシテ、斯ウ云フ書キ方ヲ致ス例ガ多イノデアリマスガ、本法案モサウ云フヤウナ氣持ヲ出シマス意味ニ於キマシテ、他ノ法令ニ倣ヒマシテ、斯ウ云フ字句デ書イテアル譯デアリマスガ、其ノ場合ニ於キマシテ、コトヲ第一條デ言ツテ居ルノデアリマシテ、ガ、ソレデハ事業ノ方ハドウデスカ、事業

ニ發揮セシムル爲」ト云フノハ、一ツノ運用上粗ヒトシテ居ル最高ノ粗ヒヲ此處ニ表ヘシテ居ル、ソレ以下ノ「國策ニ協力シ産業經濟ト云フノハ農業ヲ拔カシマンタ第五條第一號ニ書イテアル事業、斯ウ云フコトニ相成ルノデアリマス〇南委員 ソレナラ商工經濟會ト云フノノデアリマス〇南委員 ソレデハ此ノ産業經濟ト云フノヘ商工經濟ト云フコトノ意味ニ解スペキモノデアルト思ヒマスガ、ソレデハ議論ニ互リマスカラ是以上スル統制云々デ、商工經濟ニ限ツテモ一向ソレヲ打消シテ、内容ハ狭イノデスヨト云云フ誤解ヲ抱クヤウナ文句ヲ使ツテ、更ニコトヲ言フ必要ガ何處ニアルカ、此ノ點ヲ承リタイ〇神田政府委員 商工業ト云フ言葉ニ付キマシテハ、實ハ是ハ色々ニ解釋サレテ居ル譯デアリマス、一番多く使ハレテ居リマスダケノ範圍デアリマシテ、第一條ニノ狹イ商工經濟ノ圓滑ナル連絡ヲ圖リ、又其ノ改善發達ヲ圖リマス爲ニ色々ナ事業ヲ於テモ産業經濟ト云フ言葉ハ狭イ、唯此ノ狹イ商工經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮スル意味ニ於キマシテ、斯ウ云フ書キ方ヲ致ス例ガ多イノデアリマスガ、本法案モサウ云フヤウナ氣持ヲ出シマス意味ニ於キマシテ、他ノ法令ニ倣ヒマシテ、斯ウ云フ字句デ書イテアル譯デアリマスガ、其ノ場合ニ於キマシテ、コトヲ第一條デ言ツテ居ルノデアリマシテ、ガ、ソレデハ事業ノ方ハドウデスカ、事業

ニ發揮セシムル爲」ト云フノハ、一ツノ運用上粗ヒトシテ居ル最高ノ粗ヒヲ此處ニ表ヘシテ居ル、ソレ以下ノ「國策ニ協力シ産業經濟ト云フノハ農業ヲ拔カシマンタ第五條第一號ニ書イテアル事業、斯ウ云フコトニ相成ルノデアリマス〇南委員 ソレナラ商工經濟會ト云フノノデアリマス〇南委員 ソレデハ此ノ産業經濟ト云フノヘ商工經濟ト云フコトノ意味ニ解スペキモノデアルト思ヒマスガ、ソレデハ議論ニ互リマスカラ是以上スル統制云々デ、商工經濟ニ限ツテモ一向ソレヲ打消シテ、内容ハ狭イノデスヨト云云フ誤解ヲ抱クヤウナ文句ヲ使ツテ、更ニコトヲ言フ必要ガ何處ニアルカ、此ノ點ヲ承リタイ〇神田政府委員 商工業ト云フ言葉ニ付キマシテハ、實ハ是ハ色々ニ解釋サレテ居ル譯デアリマス、一番多く使ハレテ居リマスダケノ範圍デアリマシテ、第一條ニノ狹イ商工經濟ノ圓滑ナル連絡ヲ圖リ、又其ノ改善發達ヲ圖リマス爲ニ色々ナ事業ヲ於テモ産業經濟ト云フ言葉ハ狭イ、唯此ノ狹イ商工經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮スル意味ニ於キマシテ、斯ウ云フ書キ方ヲ致ス例ガ多イノデアリマスガ、本法案モサウ云フヤウナ氣持ヲ出シマス意味ニ於キマシテ、他ノ法令ニ倣ヒマシテ、斯ウ云フ字句デ書イテアル譯デアリマスガ、其ノ場合ニ於キマシテ、コトヲ第一條デ言ツテ居ルノデアリマシテ、ガ、ソレデハ事業ノ方ハドウデスカ、事業

云フモノノ助長ニナリ、弊害ヲ助長スル機
關ニナルノデアリマス、其ノ點ニ付テドウ
モ私共ハ不思議デ仕方ガナイ、單ナル統制
ノ責任分擔ノ區域ニ外ナラヌノデアツテ、
物資ノ交流ヲ邪魔シヤシマセヌナドト云フ
辯解ヘ耳ニ胖脣ノ出來ル程聽キマシタ、ソ
レハ嘘ナシデス、實情ハサウデヘナイ、縣
「ブロック」ト云フモノヘドレダケ經濟ノ發
展ニ邪魔シテ居ルノカ分ラナイ、物資ノ交
流ヲ阻止シテ居ルト云フコトハ顯著ナ事實
ナノデアリマス、ソレニ依ツテ生產力ガ鈍
ツテ生産力非常ニ減退シテ居ル、其ノ爲ニ
物資ノ總量、絕對量ト云フモノハ減ルノデ
アリマス、減ルカラシテ益、物資ガ缺乏シテ
闇ト云フモノガ必要ニナツテ來ル、即チ公
定相場デハ無論「インフレ」ト云フモノハ起り
得ナイニシテモ、闇デ「インフレ」ガ起ツテ來
ル、闇ノ「インフレ」ヲ助長スルノヘ府縣「ブロッ
ク」、サウ云フ呪ヘレタ府縣「ブロック」ヲ此
ノ商工經濟會ヘ裏付ケラント益、之ヲ助ケ
テ行カウト云フコトニシカナラヌ、而モソ
レデ吾々ハオカシイカラ、是ハ一ツ今日ハ
交通モ通信モ非常ニ發展シテ來テ居ルノデ
アリマスカラ、昔ノヤウナ小サイ府縣ハ意
味ヲナサヌ、數縣ヲ打ツテ一丸トナシタ所
ガ丁度經濟生活ノ範圍トシテモ適當ナモノ
デアルシ、府縣ノ區域トシテモ相當デアル、
デアルカラ是ハ府縣ノ併合ヲヤツテ、モウ
十縣位ニシテシマフ、ダカラ其ノ意圖ガ
アルカラシテ、サウ云フ商工經濟會モ府縣
單位ニスルノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ非
常ニ善意ニ解釋セラレルガ、サウ云フ點ニ付
テハ内務省トモ十分打合セラレテ、政府デ
ハサウ云フ心構ヘガ出來テ居ルト云フ前提
ノ下ニ府縣ヲ單位トシテ商工經濟會ト云フ

○神田政府委員 經濟ノ府縣「ブロック」ニ付キマシテハ、是ハ屢々問題ニナル事項デアリマスガ、今マデ府縣「ブロック」ト云フコトガ最モ言ハレテ居リマシタノヘ、食糧其ノ他ノ農產品等ニ付テ可ナリ言ハレテ居ツタヤウニ思ハレルノデアリマス、商工關係ノモノニ付キマシテハ、從來ト雖モ比較的シマシテモ府縣「ブロック」ト云フヤウナ傾向ガ兎角出勝チデアルト云フコトニ付キマ此ノ府縣「ブロック」ト云フヤウナ傾向ガ少シテハ、御詰ノ通りデアラウト思フ、ソレデ實ハ端的ニ申上ゲマスト、此ノ商工經濟會法ヲ拵ヘマス時ニ、地域ヲドウ云フ地域ニズルカト云フ點ニ付キマシテハ、吾々モ色々ト研究モシ、又惱シダ問題ノ一ツデアリマス、御詰ノヤウニ寧ロ數府縣ヲ併セテ、或ハ關東地區デアリマストカ、近畿地區デアリマストカ云フヤウナ地區ヲ以テ、商工經濟會ノ地區ニシタ方ガ宜イデヤナイカト云フ案モ實ハ持ツテ居リ、最後マデ其ノ地區ノ問題ニ付キマシテハ、最モ重要ナ研究對象ノ一ツトシテ參ツタノデアリマス、ソコデ最後ニ道府縣ノ區域ニ依ルト云フ結論云、是ハ中央ニ於キマシテモ、政府ト云フモノト統制會其ノ他ノ經濟團體ト云フモノトノ關係ハ不可分デアルシ、又地方ニ於キマシテハ、地方長官ガ統制經濟ノ中心トナリマシテ、色々ノ施策ヲシ、命令ヲ發スルト云フヤウナ關係ガアルノデアリマシテ、

現在ノ行政機構ヲ前提トシテ考へマスナラキモノ、小サイモノヲ拵ヘマシテモ、實際上ノ運行ハ官廳ト離レテハ出來ナイ、斯キイモノ、ウ云フ實際問題ガアル、理論トシマシテハ私共モ必ズシモ府縣單位ガ宜イカドウカ、經濟「プロパー」ノ問題トシマシテ之ヲ考へマスナラバ、私自身ハ寧ロ御話ノヤウニモウ少シ大キイ經濟「ロック」ヲ擱マヘルノガ、經濟關係ダケカラ見レバ宜ノゾナライカト云フ考へヲ今デモ持ツテ居ルノアリマスガ、併シ現實ノ問題トシマシテハ只今申上げマシタヤウニ、官廳機構ト遊離シタ經濟機構ニアツテハ、少クトモ現在ノ經濟狀況ニ於テハ運行ガ出來兼ネルト云フコトカラ致シマシテ、已ムヲ得ズ此ノ道府縣ト云フモノノ區域ト一致セシメタノアリマス、併シナガラ一面御話ノヤウニ道府縣——既ニ今日ノ經濟ノ運行ニ於テ道府縣ノ範圍デハ狹過ギルト云フコトハ十分吾々モ承知シ、又其ノ弊害モ是正シナケレバナラスト云フコトモ考へマスノデ、昨日デシタカ、大臣カラモ御話申上げマシタヤウニシテ、數府縣ノ商工經濟會ト云フモノ併セマシテ、經濟「ロック」ノ協議會ト云フモノヲ拵ヘル、サウシテ一ツノ經濟「ロック」ノ中ニ於キマシテハ、其ノ間ニ十分ノ連絡ヲ取リマシテ、府縣「ロック」ト云フモノノ付キマシテハ、法律上ニ基礎ハ置イテ居リマセヌケレドモ、實際問題トシテハ、サウシテ行カウ、斯ウ云フ措置ヲ考慮シタ次第デアリマス、數府縣ノ併セマシタ協議會ニ云フ處置ヲ取リタイト思ツテ居ル譯デアリ

マス、道府縣ニスルカ、經濟「ブロック」ニ
スルカト云フ點ニ付キマシテハ、只今色々
御話ノヤウニ、ソレトキ利害得失ガアルト
思ヒマスガ、結局現在ノ行政機構ノ段階ニ
於キマシテハ先づ府縣「ブロック」ニシナケレ
バ運行ガ困難デアル、斯様ニ考ヘマシテ斯
ウ云フ處置ヲ執ツタ次第アリマス
○南委員 ソレデハ府縣「ブロック」ト云フコ
トヲ絶望スル結果ニナルト云フ議論ハ別ト
シテ、現在ノ立案ノ趣旨カラ言フト、府縣
ダケデ以テバラヽニ商工經濟會ト云フモ
ノガ出來ルダケデ、本當ノ經濟ノ「ブロック」
ヲ一丸トシマシタ經濟會ト云フモノハ出来
ナイ、同時ニ又中央ニ打ツテ一丸トシタ所
ノ中心モナイ、斯ウ云フコトデ統制經濟ニ
對スル協力ヲサスト云ツタ所ガ、地方バラ
バラデ勝手氣儘ナコトヲヤラレテ、ソレヲ
統制スルト云フ連絡ガ中央等カラ枝葉ノ方
ニズツト行クト云フ筋道ガナシニ、唯私的
ニ協議會ガ出來ルダラウト云フ想像ノ下ニ
先ヅソレヲ指導シテ行カウトスルナラバ、
ソレヲ直ニ條文化シテ明確ナル地方ノ團
體、ソレカラ或ル一地域ノ團體、更ニ中央
ノ團體、サウ云フモノヲ作ツテコソ初メテ
統制經濟ヲ政府ガヤルニ付テモ地方ノ團體
ニ國策ニ協力サスト云フコトガ筋道通ツテ
來ルノデヘナイカ、唯縣廳ヲ通シテ勝手ニ
ヤラスノデハ各々縣各地方々々デバラヽ
現象ヲ呈スルコトハ一目瞭然デアラウト思
フ、サウ云フバラヽノコトヲサセテ置ク
ト云フコトヲスルノデハ意味ヲナサヌ、而
モソレデハ足ラヌト云フコトヲ御考ヘニナ
レバコソ、私的ノ地方協力會議或ハ中央ノ
會議ヲ作ルト云フコトヲ想像シ豫想サレル
ト云フコトハ、既ニソレハ必要デアルコ

ヲ御認メニナツテ居ルカラナンデス、ソレ
ヲ地方ノモノダケ嫡出子ヲ産ンデ置イテ、
アト地方ナリ中央ハ私生兒デ宜シヒト云フ
コトハドウモ無責任ダト思フ、ヤハリ商工
經濟ニ關スル國家トシテノ熱意ノアル施策
ヲシ、熱意ノアル發達ヲ圖ル爲ノ努力ヲス
ルト云フナラバ、地方デヤリ放シテシマフ、
斯ウ云フノデハ無責任デハナイカト云フ非
難ノ餘地ガアリハシナイカト思フ、ソレヲ法的ニ
的ニ取入レルト云フコトニ付テ昨日モ御質
問ガアツタヤウデスガ、ナゼソレヲ法的ニ
取入レルダケノ熱意ヲ持ツコトガ出來ナイ
カ、其處ニドウ云フ原因ガアルカ、殊ニ地
方ダケデナイ、中央ニ於テハ各種ノ團體ガ
アル、其ノ團體ヲ先づ潰シテ中央ニ於テ統
制シテ行クナラバ初メテ地方ノ方ノ統制ガ
行ク、地方ノヤリ易イ所ダケ、弱イ所ダケ
窘メテ斯ウシロト云ツテ勝手ナ思フ存分ノ
コトヲヤラセテ、中央ヘ來ルト難カシイモ
ノハ後廻シニスル、自然ニ發達シテ來ルノニ
任スト云フコトデハ餘リニ、且任デハナイ
カ、殊ニ是ハ農林省ナンカ一番ヒドイ、兩
頭ノ蛇デハナシニ三頭ノ蛇マデ作ツテ居ル
上ノ方ハ難カシイカラ出來ナイ、出來ナイ
モノハ後廻シトスル、下ノ方ノ易シイモノノ
ニ斯ウシロアシロト云ツテ、本當ノ手強
イモノハ後廻シニスルト言フガ、後廻シデ
ハナイ、何時ニナルカ分ラナイ、サウ云フ
コトデハ、國家ノ仕事トシテヤルノハソレ
デ濟ミマセウガ、熱意ヲ以テ眞面目ニ國政
ヲ運用スル上ニ於テサウ云フ基礎ノアル團
體ヲ作ラウト云フノダツタラ、ナゼ地方及
ビ中央ノ團體ニ手ヲ染メナイカ、法的ノ根
據ヲ持ツタ團體ヲ作ルト云フ熱意ガナイン

○神田政府委員 先程モ申上ゲマシタヤウニ、此ノ商工經濟會ノ最モ重點ヲ置キ、活躍ヲシテ貰ハウト考ヘテ居ル點ハ、計畫ト實行トノ一致ト云フコトヲ先程申上ゲタ積リデアリマス、現狀ニ於キマシテ其ノ全體ノ實行ト云フモノガ他トノ連絡ヲ執リツツ旨クヤツテ行クト云フコトガ一番重點ト考ヘテ、居ル譯デアリマス、隨ヒマシテ此ノ商工經濟會ノ機構ニ於キマシテハ、假ニ中央ノ機構ガ出來タト致シマシテモ、中央カラ指令ヲ出シテドウスウト云フヤウナ經濟ノ運行上ノ問題、殊ニ統制經濟ノ問題ニ付キマシテハ、サウ云フ事態ガ少ノイデアリマス、統制會系統ニ於キマシテハ、中央カラズツト縱ノ命令ガ行クガ、此ノ商工經濟會ニ於キマシテハ、其ノ末端ニ於ケル現實ノ運ビト云フモノヲ圓滑ニ持ツテ行クト云フ所ニ重點ガアリ、ソコガ一番大事ナ點デアリマス、隨テ私共モ此ノ經濟團體ヲ結成スル上ニ於テ重點ヲ置キ、最モ急イダノハ、此ノ末端ノ機構ガ非常ニ大事ナ點ダト考ヘタ譯デアリマス、ソコデ現在ノ經濟ノ運行ト云フモノヲ見マスルト、結局此ノ本ガ官廳カラ出テ居ル、殊ニ地方ニ付テハ、地方長官ト云フモノガ末端ノ經濟運行ニ付テ色々ナ力ノ發生ノ本ニナツテ居ルノデアリマス、隨テ此ノ地方長官ト云フモノト離レテドンナ機構ヲ持ヘテモ、今ノ行政機構ノ下ニ於テハソレハ成立タナイ、尤モデナク、他ニ色々政治上ノ問題ヲ考慮シテ決

メナケレバナラヌ問題ガアルノデ、ドウ云フ
風ナ結論ニ達スルカ私共モ想定ヘ着カナイ
ノデアリマスガ、少クトモ現在ハサウ云ツタ
コトカラ道府縣ト云フ制度ガ出来テ居リ、此
ノ建前カラ經濟ト云フモノガ總テ現在ノ道
府縣知事ト云フモノヲ本トシテ動イテ居リ
マスノデ、是ト離レタ機構ト云フモノヲ考ヘ
マシテモ、ソレヘ到底イケナイ、斯ウ考ヘマ
シタノト、ソレカラ先程申上ゲマシタ末端
ノ連絡ト云フコトガ非常ニ大事デアルト云
フコトカラ致シマシテ、道府縣ヲ區域トシタ
此ノ末端ノ商工經濟會ト云フモノニ最モ力
ヲ置キマシテ之ヲ拵ヘ上ゲタノデアリマス
ソコデ今御質問ニアリマシタ經濟「プロッ
ク」ヲ中核トシテ協議會ヲ拵ヘ、又全國
ノ協議會ヲ大體拵ヘル積リデアルガ法文
ニハ書イテナイト云フコトヲ申上ゲタノ
ニ對シマシテ、何故ソレヲ法制化シナイカ、
斯ウ云フ御質問デアリマス、全體全國ノ
商工經濟會ニ關スル協議會ニ付キマシテ
之ヲ法制化シナイ原因ハ、昨日大臣カラ
縷々申サレタ通りデアリマス、全國經濟團
體トシテハ單ニ商工經濟會ノ問題ダケデチ
ク、他ノ各種ノ經濟團體ヲ綜合シテ強力ナ
モノヲ拵ヘナケレバナラヌ、ソレニハ一部
分ヲ固メテシマフト、アト全體ヲ構成スル
場合ノ支障ニナルコトガアリ得ルノデ、取
敢ヘズ法制化シナカツタト云フコトヲ大
臣カラ御答辯ガアツタノデアリマスガ、是
ハ其ノ通リデアリマス、併シ全國經濟團體
ノ問題ハ決シテ放ツテ置ク譯デハアリマセ
ヌノデ、此ノ商工經濟會ノ問題ト並行シテ
只今策ヲ進メツツアル譯デアリマスカラ、
遠カラズ全國ノ經濟團體ニ付キマシテハ結
成ヲ見ルコト考へル譯デアリマス、尙ホ

中間ノ經濟「ブロック」ノ協議會ト云フモノヲ
何故法制化シナカツタカト云フ點ニ付テデ
アリマスガ、是ハ地方長官ト云フモノトノ
關係ヲ特ニ考慮致シタ譯デアリマス、中間
ニ於ケル經濟「ブロック」ノ協議會ト云フモ
ノヲ法制化シ、之ヲ非常ニ強力化致シマシ
テ、是カラ道府縣ノ商工經濟會ト云フモノ
ニ對シテ、色々ナ指令ガ出——指令ガ出ル
コトハ構ハヌノデアリマスガ、法律上ノ基
礎ヲ持ツテ強イ力ガ及ンデ行クト云フモ
ニナリマスト、現在ノ機構ニ於キマシテヘ、
此ノ行政長官トノ關係ガ非常ニ微妙ニナリ
マシテ、却テ運行ガ混亂スルヤウニ考ヘラ
レル、即チ度々申上ゲマシタヤウニ道府縣
ノ商工經濟會ト地方長官ト云フモノハ事實
上表裏一體、全ク同様ニ動ク、片方ハ今マ
デノ產業經濟ニ關シマシテノ知識經驗ヲ持
ツテ居ル、片方ハ國ノ機構トシテ一ツノ力
ヲ持ツテ居ル、全ク兩者同一ニナツテ動ク
ト云フコトガ此ノ商工經濟會ノ狙ヒ所デア
リマス、隨ヒマシテ其ノ上ニ法的ノ經濟
「ブロック」ヲ中心トシタ協議會ト云フ強イ
モノガ出來テ、道府縣ノ商工經濟會フ餘リ
ニ強ク「コントロール」スルコトニナルト、
府縣知事トノ關聯ガ非常ニ阻碍ヲ受ケル、
サウスルト其ノ間ニ折角最モ重點ヲ置イテ
トシテ協議會ト云フ恰好デヤル方ガ寧ロ柔
ク而モ圓滑ナル動キヲスルノデヤナイカ、
斯ウ云フコトヲ考ヘマシテ特ニ法定ヲシナ
カツタ以所デアリマス

リ上ル力ト云フモノガ商工經濟會ノ目的ナリ事業ニ表ハレテ居ラヌヤウニ思フ、前ノ商工會議所ニ於テハ行政官廳ニ建議ヲスルトカ、或ハ諮問ニ答申スルトカ云フヤウナ字句ガアツタ、ソレニコダハル必要ハナイデセウガ、下カラ盛り上ル力ト云フモノガ商工經濟ノ發達ニ非常ニ力ガアル、今日ノ經濟界ノ發達ト云フモノハ、サウ云フ作用ニ依ツテ眼ニ見エヌ所デ政府ニ協力シ又相當效果ヲ舉ゲテ來タコトハ吾々モ認メザルヲ得スト思フ、ソレガ條文ノドレニ當ルカ能ク分リマセヌガ、只今マデノ御説明ヲ伺ヒマシテモ、下カラ盛り上ル力ト云フコトヲ一つモ念頭ニ置カレヌヤウニ思フノデスガ、其ノ點ハドウデスカ

○神田政府委員 商工經濟會ニ付キマシテ、下カラ盛り上ル力ニ付テハ私共實ハ相當考慮シテ居ル積リデアリマス、統制會ノ方面ニ付キマシテハ——勿論下カラ盛り上ル力ヲ無視シテ居ル譯デハアリマセヌガ、比較的上カラ下ニ對スル統制ノ滲透ト云フコトガ重點ヲ置カレテ考へラレテ居リマスガ、統制會ノ系統ト違ヒマシテ、商工經濟會關係ニ於キマシテハ、特ニ私共モ下カラ盛り上ル力ト云フモノヲ尊重シテ居リマス、隨ヒマシテ法文全體ヲ統制會ノ關係ト比ベテ御覽ニナリマスト、色々ナ所ニサウ云フコトガ表ハレテ居ルノガ御分リカト思ヒマスガ、只今御話ノアリマシタ諸問ニ應ジテ答申ヲスルトカ或ハ建議ヲスルトカ云フヤウナ條項ハ、此ノ商工經濟會法ニモ以前ノ商工會議所法ト同様ニ二十二條ニ同様ノ規定ヲ置イテ居リマス

ソレカラ特ニ盛り上ル力ト云フコトヲ考ヘテ居リマスノハ、此機構ニ於キマシテ今

マデノ商工會議所ハ一定ノ營業稅ヲ納メル者ノ中カラ議員ヲ選舉スル、其ノ議員デ商工會議所ヲ構成シテ居ツタ、所ガ今度ハソレデヤイカヌ、モット全體ノモノヲ包含シテ廣イモノヲ此ノ中ニ收メナケレバイカヌハサウ云フ議員ノ構成ヲ止メテ廣ク商工業者全般ヲ會員ノ中ニ包含シテ居ル譯デアリマス

ソレカラ商工經濟會ノ運用ニ付キマシテモ、所謂衆議統裁式ノモノデハアリマスケレドモ、成ベク廣ク業者ノ關心ヲ茲ニ持タセル云フ意味ニ於キマシテ、統制會ト違ヒマシテ總會ノ制度モ置イテアリマス、此ノ總會ノ付議事項ハ限ラレタモノデアリマスケレドモ、併シ實際ノ狙ヒ所ハ其ノ總會ヲ通ジマシテ會員ノ意見モ聞キ、又會頭ノ考ヘテ居リマス所モ一般ニ滲透スルヤウナ處置ヲ採ラセルト云フ含ミヲ以テ總會制度ヲ考ヘテ居リマスシ、特ニ評議員制度ヲ置イテ居リマスガ、此ノ評議員ハ相當多數ノ者ヲ業界カラ選ビマシテ、此ノ評議員ガ絶え會頭ノ參謀ト云ヒマスカ、相談役ト云ヒマスカ、會頭ヲ取り巻キツツ商工經濟會ノ運行ヲスルト云フコトヲ考ヘテ居リマス

○南委員 ソレ等ノ點ニ關シテハ後カラ伺ヒマス、ソコデ小サイ點ヲ先ニ御伺ヒシテ置キタイ、第五條ニ「商工經濟會ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲ガル者ニシテ地方長官ノ指定スルモノトス」トアル、是ハ

アリマスカ

○神田政府委員 地方長官ノ指定スルト云フコト違ヒマスケレドモ、役員ハオ上デ勝手ニ作ツタ役員デ、仕事ハコツチガスルシニ、ヤハリ主務大臣ガ全國的ニ或ル一定ノ標準ヲ決メテオヤリニナルト云フコトデアリマスカ

○南委員 次ニ伺ヒタイノハ役員ノ問題デアリマス、役員ノ選任方法ヲ見マスト、殊ニ此ノ商工經濟會ノ如キモノハ、團體其ノモノハ何等關係ガナニ、團體員ト云フモノハ金ヲ出スダケノモノデアル、仕事ハ役員ガスルト云フケレドモ、役員ハオ上デ勝手ニ作ツタ役員デ、仕事ハコツチガスルシニ、ヤハリ主務大臣ガ全國的ニ或ル一定ノ標準ヲ決メテオヤリニナルト云フコトデアリマスカ

○神田政府委員 府縣ニ依リマシテ事情ハ違ヒマスケレドモ、大體大小位ノ府縣ニ分チマシテ基準ヲ省令ニ依ツテデモ規定シタイト思ツテ居リマス

○南委員 第六條「主務大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ規定ニ依リ會員タル資格ヲ定」ヲ定款ニ書カスコトニナツテ居ル、サウナツテ來ルト資格要件トシテ定款ノ規定ニシ」トアリマス、是ハ會員ノ資格アル者ハ誰ト言ツテ選ブコトハ困難ダト思ヒマス、實際ノ運用ノ上ニ於テハ現在ノ商工會議所ノ役員トカサウ云フヤウナモノヲ通シテヤソナコトハナシニ、唯パツトスウ云フヤラスト云フヤウナ御趣意デゴザイマスカ、ウニ決メテ居ラレルノデスカ、ソコヲ御伺ヒシマス

構成員ノ意思如何ニ拘ラズ勝手ニ引搔キ廻ス、斯ウ云フヤウナヤリ方ニナツテ居ル、丁度船ヲ動カス船長ハコツチガ任命スル、任命スルダケナラバマダ宜イノダガ、艦隊ノ司令官ガ艦隊ヲ動カスノニ、旗ヲ擧ガテ直グ蹤イテ來イト云フ命令ヲ下スト云フ方法デハナシニ、一々曳綱デ以テ船ヲ引張ツテ行カナケレバドウモ船ヘ十分ニ蹤イテ來ナイト云フヤウナ、縛リ付ケテコツチノ言フコトヲ聽カサウト云フヤウナ筋ガ、凡ユル團體法ノ法制ノ上ニ現ヘレテ居ル、隨テ此ノ商工經濟會ノ關係モ、或ハ農林團體ノ法規ヲ見マシテモ、皆一貫シタ理論ガ貫イテ居ルヤウニ思ハレル、ソレデ茲ニ伺ヒタイノハ、一體日本ノ精神ト云フモノハ昔カラ一君萬民、君民一如デ來テ居ル、西洋ノヤウニ個人主義デモナケレバ、又反動的ノ全體主義、即チ個人主義ノ變形タル全體主義、ソコニアル差別ノ觀念、之ヲ基頓シタ形デハナクシテ一君萬民、萬民ハ陛下ニ歸一スルト云フコトデ、民ノ富メルハ朕ガ富メルナリト云フ觀念デアル、即チ差別觀念デハナクシテ、全ク翼賛歸一ノ關係ニ立ツテ三千年來、否何萬年來來テ居ル、サウ云フヤウナ日本ノ國體ニ持ツテ來テ、西洋デ反動的ニ生レタル全體主義ヲ翻譯的ニ輸入シテ來テ、唯頭カラ下ヲ引摺ラヌト團體ガ引摺ツテ行ケナイト云フヤウナ思想デ總テノ團體ヲ作ラウ所ノヤウニ見エル、サウ云フ國體ニ違反スルヤウナ現象ガ現ハレテ居ルト云フコトハ、

洵ニ遺憾ト思ヒマスガ、サウ云フコトヲ自覺シテ斯ウ云フ法規ガ生レテ來タモノデアルカドウカ、サウデナシニ唯自然ニ流行ルモノダカラ、流行リモノヲ學ブト云フダケニ過ギナインデアルカ、國體ニ反スルト云フ根柢マデ突止メテ、ソレヲ御研究ノ上デ斯ウ云フ法制ガ出來上ツテ居ルカ、ソレ等ノ農林省ト商工省、内務省トノ間ニ於テ連絡シタ御協議ガアツタノデアルカ、各々唯勝手ニサウナツテ居ルノデアルカ、ソコ等ノ點ニ付テ腹藏ナイ内明ケ話ヲ伺ヒタイ、唯偶然サウナツタラサウナツタデ宜シイ、又指導者原理ト云フモノハ指導者ノ信賴ヲ前提トスル、指導者ト云フ者ノ信賴ナシニ、勝手ニコツチダケ指導者ダ、サウ云フ「ドイツ」的ノ指導者原理ニシマシテモ、サウ云フヤウナコトヲドウ云フヤウニ採入レラレテ居ルカ、サウ云フモノヲ採入レナイデ唯區々ニ勝手ニ御考ヘニナツテヤツテ居ラレルノデアルカ、ソレトモ何カ連絡ガアツテヤツテ居ラレルノデアルカ、其ノ點ニ付テノ御意見ヲ伺ヒタイ

○石黒政府委員 只今ノ私ニ對スル御質問ハ、農業團體法ノ中ノ行政官廳ガ會長ヲ解任シ得ル規定ニ對スル御質問カト存ジマスガ、之ニ付キマシテハ御承知ノヤウニ從來カラ、例ヘバ法令ニ違反スルトカ、或ハ會則ニ違反スルトカ、或ハ公益ヲ害スルトカ云フヤウナ場合ニ付キマシテハ、是ハ解任シ得ルコトハ殆ド多クノ公共的ノ性質ヲ持ツタ團體ニハ共通ノ規定デアリマス、今度ハ農業關係ニ於キマシテハ、農業ノ整備發達上會長不適任ダト行政官廳ガ認メタ時ニハ解任シ得ルト云フ規定ガ出來テ居ル、之ニ對スル御質問カト思ヒマス、是ハ如何ニモ

ニ勝手ニ行政官廳ガ會長ノ解任ガ出來ルヤ
ウナ風ニモ見エナイコトモゴザイマセヌケ
レドモ、此ノ趣旨トスル所ハ私共モ從來カ
ラ色々團體ノ例ナドヲ見テ居リマンテモ、
モウ以前カラモウ少シ解任シ得ル範圍ガ廣
イ方ガ團體等ノ運營ノ上カラモ宜イデハナイ
グラウカト云フヤウナコトヲ謂ハレテ居ツ
タコトガアルノデアリマス、ト申シマスノ
ハ、實際問題トシマシテ、本當ニ會長ガ、
其ノ團體ノ衆望ヲ擔ツテ纏メテ行ツテ居ル
ヤウナ場合ニ付キマシテ、尙且ツ官廳カラ
ハ、團體ノ内部ニ於テ巧ク參ラナイト云フコ
トノ爲ニ、例ヘバ團員ノ大多數ノ信望ヲ失
テ居ル、併シサウ目立ツテ是ハ惡イト云
フコトモナク、信望ヲ失ツテ居ルトカ、或ハ
團體員トシテモ、辭メテ吳レトマデ極端ナ
コトヲ言ヒ兼ネルケレドモ、ドウモ信任任
シ得ナイト云フノデ、ソレガ例ヘバ總會
ノ色々ナ決議等ヲヤリマス上ニモ不信任ノ
表明ガアル、或ハ非常ニ病氣ナドデ事實モ
ウ會務ガ執レナイ、併シ自發的ニ辭メルト
云フ意思ノ表明モナイ、併シ團體ノ内部ニ
於キマシテハ、相成ルベクハ一つ此ノ際迭
ツテ貰ツタ方ガ宜イト云フヤウナコトヲ考
若シ官廳等カラ解任ガシテ貰ヘルト云フコ
トデアルト、大變又ソレガキツカケニナツ
テ、必ズンモ解任ノ手順ヲ履マナクテモ圓
満ニ事ガ納マツテ行クト云フヤウナコトモ
考ヘラレル場合ガ間々アルノデアリマシテ、

サウ云フヤウナ場合ニ於テ、要スルニ行政官廳ハ解任ヲシ得ルモノダト私共ハ實質的ニハ考ヘルノデアリマス、之ヲ若シ極端ナコトヲヤリマスル場合ニハ、是ハモウ恐ラク實際地方的ナ輿論ノ上カラ言ヒマシテモ、到底サウ云フコトガ行ヒ得ルモノデハナイト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○南委員 私ノ農業團體ニ付テ疑ヒヲ懷イテ居ルノハ寧ロ其ノ點デハナイノデアリマス、具體的ナ例ニナツカカラ簡單ニ申上ゲマスガ、農業團體法「十九條」ハ「會長ハ總會ニ於テ推薦シタル者ニ就キ市町村農業會ニ在リテハ市町村長ノ意見ヲ徵シ地方長官、道府縣農業會ニ在リテハ地方長官ノ推薦ニ依リ主務大臣之ヲ命ズ」トアル、詰リ總會自身ノ推薦ノ意思ハ現ハレテ居リマスケレドモ、兎ニ角上カラ命ズルト云フ形式ヲ何處マデモ採ツテ居ル、私ハ此ノ點スラモ不満ナノデスガ、ソレハ宜イトシテ「副會長及理事ハ總會ニ於テ推薦シタル者ニ就キ會長之ヲ選任ス」トナツテ居ル、即チ總會デ推薦シタ者ヲ會長ガ選任シテ居ル、ソレヲ三十條ノ二項ニナツテ來ルト、「會長必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ副會長又ハ理事ヲ解任スルコトヲ得」トナツテ居ツテ、會長ニ專權ヲ與ヘテ居ル、會長ト云フモノハマルデ獨裁專制デ、氣ニ入ラナカツタラ直グニデモ免職スル、斯ウ云フヤウチ權限ラ持タシテアルノデアリマス、是ハ所謂指導者原理ト云フヤウナモノノ私ハ誤解デヤナイカト思フ、サウ云フヤウニ、選ブ時ニハ會員ノサスト云フコトモ理窟ノ上カラ言ヘバ出來ル譯デアル、サウ云フヤウナ立テ方ハ洵ニ

ドウモ會員ノ意思ト云フモノヲ無視シタモ
ノデヤナイカト思ヘレル、是ハ偶然斯ウ云
フ風ニナツタノナラソレデモ結構ナノデス、
サウ云フヤウナコトニ付テ何カ各省ノ間ニ
唯私ノ伺ヒタイ點ハ、ドノ條項ヲ見テモ團
體法ハ總アソレ式ニ專制政治ニ出來テ居ル、
フヤウナモノヲ御研究ニナツテ居ルノカド
ウカ、サウ云フ點ガ伺ヒタイノガ趣旨ナノ
デアリマス

○石黒政府委員 能ク分リマシタ、其ノ點
ニ付キマシテハ、特ニ各廳間ニ打合セ其ノ
他ノコトハゴザイマセヌ、唯ダ今ノ必要ア
リト認ムル時ト云フ言葉ハ、何カ必要ダト
會長ガ主觀的ニ考ヘレバ宜シイカト云フ風
ニモ取レマスケレドモ、此ノ必要ト云フコ
トニ付キマシテハ、ヤハリ多分ニ客觀性ガ
アルト思フノデアリマス、若シ會長ガ何處
シテ適任デアルカドウカト云フコトデ團體
員全體カラ信任ヲ疑ハレルト云フヤウナコ
トニモナルノデヤナイカト思ヒマス、兎ニ
角左様ナ風ニ考ヘテ居リマス

○南委員 ソレデハモウ一つ伺ツテ置キタ
イ、先程一番最初ニ實ハ伺ツタノデスガ、
名稱ノ問題デス、農業團體デハ、農業經濟
會ト云フモノガ、地方ニハナクテ、中央ニ
全國農業經濟會ト云フモノヲ御作リニナツ
テ居ル、此ノ名前ノ經濟會ト云フモノト、
茲ニ今議題ニナツテ居ル商工經濟會ト云フモ
ノト内容ガマルデ違フ、一方ハ寧ロ會員ノ
利益ヲ主トシテ行動セラレルコトガ目標ノ
ヤウニ思ハレル、詰リ產業組合ノ一番ノ親
ニナツタノカドウカ、指導者原理ナドト云
フヤウナモノヲ御研究ニナツテ居ルノカド
ウカ、サウ云フ點ガ伺ヒタイノガ趣旨ナノ
デアリマス

○石黒政府委員 農業經濟會ハ、大體御說
ノヤウニ、要スルニ事業團體デゴザイマス、
其ノ點ニ於テ此ノ商工經濟會トハ性格ガ
違フ譯デアリマス、其ノ點カラ關聯シマシテ、
同ジク名稱ガ、一方ガ農業經濟會デアリー
方ガ商工經濟會デアル、彼此對照シテノ御
感想尤モト存ズルノデアリマスガ、要ス
ルニ是ハ一つノ固有名詞デアリマス、デア
リマスカラ、ソコニ農業經濟會ト云フモノ
ハ斯ウ云フモノデアル、商工經濟會ハ斯ウ
云フ趣旨ノモノデアルト云フコトガ明カニ
方ト云フコトデアリマセウカ、所ガコチラノ
方ハサウデヤナイ、各營業者自身ノ直接ノ利
益ト云フモノハ何モ目的ハナイ、一般的ノ
行政ニ協力シタリ、或ハ一般的ノ商工業ノ
發展ヲ圖ルコトガ主デアル、是ハ現在ノモノ
デモサウダシ、是カラ作ラウトシテ居ル商工
經濟會モ眼目ハソニアル、內容ハ農林關係
ノ經濟會ト商工關係ノ經濟會トマルデ達
フ、丁度日本デハ鐵道ノ汽車ト言フ
ノニ、同ジ文字ヲ汽車ト言ヘバ支那デハ自
動車ノコトヲ汽車ト言フ、ソレ程言葉ガ一
ツノ言葉ヲ以テ内容ガ違ツテ居ルヤウニ
是ハ國ガ違ヒマスカラソレデ成立チマスケ
レドモ、同ジ日本デアツテ 陛下ノ政府デ、
同じ時ニ法律ヲ作ツテ居ルノニ、内容ガマ
ルデ違フモノヲ一つ言葉デ表ハスノハドウ
デセウカ、名ハ體ヲ表ハスト云ヒマスガ、
チツトモ體ヲ表ハサナイ、名ヲ見タダケデ
ハ内容ガ分ラスト云フノハドウカ、斯ウ云
フ風ニ疑ハレルノデスガ、其ノ點ニ付テ、
何等カ連絡ヲシテ、ドツチカ名前ヲ紛ラハ
シクナイヤウニ出來ナイモノデスカ、其ノ
點ヲ御伺ヒシタイ

○石黒政府委員 農業經濟會ハ、大體御說
次ニ商工關係ノ御方ニ質問ヲ續行致シタ
イト思ヒマス、商工經濟會法ノ第十三條ノ
役員ノ規定ヲ見マスト、會頭ハ商工經濟會
ヲ代表シテ仕事ヲスル偉イ御方デアリマス
ガ、一體誰ニ選バレルカト云フト、銓衡委
員會ノ推薦ニ基イテ知事ノ意見ヲ徵シテ主
務大臣ガ之ヲ選ブ、斯ウ云フヤウニナツテ居
ル、其ノ銓衡委員ト云フモノハ一體誰ガ作
ルカト云フト、ソレハ知事ガ勝手ニ任命ス
ル、而モ其ノ知事ノ任命スル銓衡委員ノ評議
員ヲ選ブノデアルガ、評議員其ノモノハ

何モ會員タルコトヲ必要トシナイ、會員デ
アルト云フ資格ハ決メテナイヤウデアル、
即チ役員ハ全部會員タルヲ必要トシナイ、
監事ハ「評議員之ヲ選任ス」ダケデ、何モ會
員タルコトヲ必要トシテ居ナイ、總テノ役
員ハ會員タルコトヲ必要トシナイト云フ結
論ニナル、サウスルト如何ニモオ役所ノ方
デ知事が總テノ選任シ、選任セシムル、勝
手ニ知事が役員ヲ決メルト云フ結論ハモウ
動カスベカラザルコトデアル、趣旨ハサウ
云フ結論ニナリマスガ、ヤハリソレハサウ
云フ趣旨ニ伺ツテ宜シイノデスカ、何カソ
レハ違フト云フ結論ガ出テ來ル途ガアリマ
スカ御伺ヒシタイ

ニ参畫サセルノハ當然デアリマスシ、又ソレヲ參畫サセナイト云フコトハ却テ宜クナハ當然大部分ノモノハ産業經濟ヲヤツテ居ル者デアルト云フコトニナルノハ、常識上私共ハ疑ハナイノデアリマス、縣知事ト雖モ法文ニ斯ウ書イテアルカラト云ツテ、產業經濟家デチイ者ヲ、意中ノ者ヲ選ンデソレヲ銓衡委員ニスルト云フコトハ、實際ノ政治問題ト致シマシテ、到底地方長官ノヤリ終セル所デハアリマセヌシ、又サウ云フヤウナ事態ガアリマスレバ、ソレヲ中央カラナリ、地方カラナリ是正スルト云フコトハ出來ル譯デアリマシテ、要スルニ私共ノ狙ヒ所ハ其ノ土地ニ於キマスル名望家ガ集マツテ、皆デ會頭ト云フモノヲ作ツテ戴キタイ、斯ウ云フコトガ念願デアリ、又立法ノ趣旨ハソコニアルノデアリマス、選舉ニ依ルノモ一ツノ方法カト思ヒマスガ、寧ロ產業經濟ト云フヤウナ問題ニ付キマシテヘ、他ノ選舉ノ場合ト違ヒマシテ、地方ニ於キマシテハ、モウソコノ町ノ産業經濟ノ名望家デ會頭ニナル人ハ、誰サン、誰サント云フコトハ見當ガ付イテ居ルノデアリマシテ、ソレニ反スルヤウナ人ヲ地方長官ガ選ンダ所デ、到底後ノ運用モ巧ク行カヌコトモ分ツテ居リマスシ、又サウ云フコトハ出來ナイ、其ノ數人ノ會頭候補者ヲ選ブニ付キマシテ、之ヲ一々選舉ヲシテ争ツテヤルト云フ恰好ヨリモ、寧ロ地方ノ名望家ガ集ツテ、今度

ハ誰サンニ引受ケテ戴カウヂヤナイカト云
ウカト云フコトカラ、斯ウ云フ立法ヲ致シ
タノデアリマス、其ノ日本式ノ書キ方ト、
從來ノ日本ノ法律ノ書キ方ト、ドウモ一致
スルヤウナ旨イ書キ方ガナイモノデアリマ
スカラ、從來ノ立法ノ書キ方ニ從ヒマスト
スウ云フコトニナツテ來ルノデアリマスガ、
運用ニ付キマシテハ全ク今私申上ゲマシタ
ヤウナコトヲ考ヘテ居ルノデアリマシテ、
地方長官ニ對シマシテモ、當然サウ云フ運
用ヲ致サセル積リデゴザイマス、其ノ點ハ
御安心ヲ願ヒタイ

○南委員 「會頭銓衡委員ノ推薦シタル者」
ト云フコトヲ十四條ニ決メテアリマスガ、
其ノ政府デ御考ヘニナルヤウナ趣旨ナラバ無
理ニ何モ條文デ、二項デ表ハシテアルヤウ
ナ方法デ、地方長官ノ任命シタ銓衡委員ニヤ
ラセナクテモ、定款デ以テ斯ウ云フ趣旨ノ
コトヲ書カシテ、或ル一定ノ人間ニ推薦サ
シテ、サウシテ其ノ會員ノ中カラ選ンデ來
タ者——推薦モ選舉デモ、ソレハドウデ
モ宜イガ、定款デ推薦ヲシロト云フコトデ
推薦ラスル内容ヲ定メサシテ、サウシテ會
員ノ方カラ推薦シテ來タ者ヲ、地方長官ノ
意見ヲ徵シテ主務大臣ガ之ヲ任命スル、斯
ウ云フコトナラバ同ジコトヲヤルニシマシ
テモ、何人モ納得ガ行クダラウト思フ、ケ
レドモサウデナシニ是ダケ見ルト會頭ハ
何處カ仕事ノナイ役人上リデモ持ツテ來テ
据エテ、謂ハバ職場ヲ作ツテヤルノダ、其
ノ目的デハナイカト云フ風ニ皆邪推スルノ
デス、一番邪推スルノハ是ナンデス、ダカラ
之ニ附帶シテ伺ヒタイノヘ、一體此ノ會頭

メルノカ、其ノ御趣意ヲ一ツ伺ヒタイ、從ド云フモノハ稀有ノ例デアルガ、而モ本當ノ意味ノ月給取テハナイ、詰リ會員ハ全部名譽職デアル、隨テ役員ハ會員カラ選バレマスカラ全部月給ヲ取ツテ居リマセヌ、デアルカラ今度ノ會頭モ其ノ通り名譽職ニスル建前デアルカドウカト云フコトヲ明力ニシテ戴キタイト思ヒマス、若シ名譽職ニスルト云フコトデアツタナラバ、ナゼ名譽職ニスルト云フコトヲ何處カニ説ツテ置力ナイカ、サウデナイトサウ云フ餌ニナツテシマフ、徒ラニ職場ヲ與ヘルト云フ疑ヒヲ起セル虞レガアルカラデス、ソレヲ防グダケノコトヲシテ置カヌト、非難ノ的ニナル、御趣意ハ何處ニアルカ、名譽職ニスルト云フ御趣意デアリマスカ、或ハ有給ナ者ヲ置クト云フ御趣旨デゴザイマスカ

ト考ヘテ居ル譯デアリマス
序デニ此ノ全體ノ法制ノ書キ方ニ付テ、
サウ云フ問題ガ出マシタカラ私共ノ氣持ヲ
申上ゲマスガ、此ノ商工經濟會ニ付キマシテ
ハ、從來ノ商工會議所其ノ他ノ色々ナ機構
等ト多少違ヒマシテ、法文ヲ可ナリ簡單ニ
シテアリマス、ト言フノハ、先程ノ民意尊重
ト云ヒマスカ、盛上ル力ト云ヒマスカ、サウ
云フコトヲ相當私共尊重シテ考ヘテ居ル、
ソレニハ餘リ法律ニ細カク之ヲ書イテシマ
フト、却テ運用ガ利カヌデヤナイカ、御話
ノコトハ、モウ定款ニ委セテ、地方ノ實際
ニラレル方ニ定款ヲ持ヘテ貰フ、其ノ定款
ニハ相當細カクシテ宜カラウト思ヒマス、
法律ニ餘リ細カク決メテ身動キ出來ヌヤウ
ニシテシマフト、實際ニ即應シテ地方デ動
ケナクナル、中央デ事情モハツキリ分ラヌ
ノニ細カイコトヲ決メテシマフノハドウカ、
全ク正直ニサウ云フ考ヘ方カラ、私共立案
シタ時ニ可ナリ法文ヲ簡單ニシテ居リマス、
今ノ名譽職等ノ問題モサウデアリマスガ、
餘リ重箱ニシテシマツテモドウカ、若シサ
ウ云フ外ノ者ヲ連レテ來ルト云フ心配ガア
ルナラ、地方ニ於キマシテハ定款ニハツキ
リ名譽職ニスルト云フコトヲ、ドンヽ書
イテ戴イテ差支ヘナインデアリマシテ、要
スルニ法律ノ建前トシテハサウ云フ氣持デ
書イテ居ルノデアリマシテ、ソコヘ一ツ御
諒承ヲ願ヒタイ

○南委員 ソコデ字句ノ點デアリマスガ、
「地方長官ノ承認ヲ受ケ」ト云フコトガアルノ
デスガ、例ヘバ「副會頭、理事長及理事ハ當
該商工經濟會ノ地區内ニ於ケル產業經濟ニ
關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ地方
長官ノ承認ヲ受ケ會頭之ヲ命ズ」ト云ツテ、
何デモ地方長官ハ上ノモノト思ツテ居ルヤ
ウナ感ジガ懷カレル、ソレヲ寧ロ地方長官
ニ協議ノ上會頭之ヲ命ズト云フノデアツタ
ラ、對等ノ地位デアルカラ非常ニ氣持ガ好
イ、同ジコトダガ、サウ云フ所ガ澤山アル
ノデス「地方長官ノ承認ヲ受ケ」ト云フノヲ
「地方長官ニ協議ノ上」ト訂正スルコトハ出
來マセスカ、承認ヲ得ルト云フノト、協議
シテト云フノトハ非常ニ氣持ガ達フ、詰リ
協議ナラ自分達ガヤツテ居ルンダト云フ氣
持ニナル、承認ト云フト、何カ當局ノ監督
ヲ受ケテ——人ノ任免マデ一々監督ヲ受ケ
ナケレバ出來ナイト云フヤウナ、觀念上非
常ニ差異ガアルノデスガ、如何デスカ
○神田政府委員 「承認ヲ受ケ」ト云フコトハ
吾々非常ニ買ツテ貰ヒタイノデス、今マデ
ノ法案デ官廳關係ハ認可トカ許可トカ云フ
コトヲ遣ヒマスケレドモ、「承認ヲ受ケ」ト云
フコトハ殆ド例ガナイト思ヒマス、之ヲ書
カセルノニ私ハ相當内部デ苦勞ヲシタ、斯
ンナ用語ハナイカラ許可認可ニシロト云フ
ノガ大部分ノ意見デアツタ、只今ノ御話ノ
ヤウナ氣持カラ許可認可デハ氣持ガ出ナイ
ノデ、是非承認ト云フ言葉ヲ使ツテ貰ヒタ
イト云フノデ、私共相當苦勞シテ承認ト云
フコトヲ入レタノデアリマシテ、此ノ氣持
ハ十分買ツテ戴キタイト思フノデアリマス、
協議デモ宜イノデアリマスガ、私共ノ感じ
カラ申シマスト、大體同等ノ發言權ト云ヒ
マスカ、關心ヲ以テ、ソコデ相談ヲスルノガ
協議デアル、承認ト云フノハ別ニ上トカ下
トカ云フノデハナクシテ、主タル發動力ハ
寧ロ會頭ニアツテ、官廳ノ方ハ官廳ノ要求
カラソレヲ見テ宜カラウトカ惡カラウトカ
言フノデ、關心ノ持チ方ガ會頭ノ方ガ非常

ニ強イ、斯ウ云フ氣持カラ承認ノ方ガ宜イ
ノデハナイカト考ヘルノデアリマスガ、何
ニシマシテモ、只今御話ノヤウナ氣持デ
レニシマシテモ、此ノ承認ト云フ言葉ヲ非常ニ苦勞シテ入レ
タノデアリマシテ、御諒承ヲ願ヒタイト思
ヒマス

○木村委員長 ソレデハ本日ハ是ニテ散會
致シマス、明日ハ午前十時カラ午後モ繼續
致シマス

午後零時十分散會